

## iLO 7 ファームウェアアップデートに関する補足

本書は、Starter Pack にて iLO ファームウェアをアップデートするときの注意事項などについて説明します。  
本説明文を最後までよく読み、適切に対処してください。

尚、アップデート操作を誤るとサーバーが起動しなくなる等の障害が起きることがあります。  
また、データ書き換え中に予期せぬアクシデント（停電、雷、遮断、ノイズ等）に因りサーバーが誤動作したり電源が切断されたりしますと、最悪の場合、機器が損傷し正常動作しなくなります。このような場合お客様のご負担で修理を必要とすることがありますので十分ご注意ください。

- ファームウェアアップデート中にブラウザのリロードボタンまたは F5 キーを押さないでください。誤ってそれらの操作をしてアップデートが完了しない状態になった場合は、iLO のリセットを行ってください。
- サーバーに TPM または TM がインストールされている場合、システム ROM(BIOS)または iLO ファームウェアをアップデートする前に、TPM または TM に関する情報を格納するソフトウェアを一時停止またはバックアップしてください。  
例えば、ドライブ暗号化ソフトウェアを使用している場合は、ファームウェアのアップデートを開始する前に停止してください。ソフトウェアを停止せずにシステム ROM(BIOS)または iLO ファームウェアのアップデートを行った場合、データへアクセスできなくなる可能性があります。  
TPM または TM を使用するソフトウェアを停止していない状態では、システム ROM(BIOS)または iLO ファームウェアのアップデートを開始しないようにしてください。
- iLO ライセンスキーの紛失や HW 障害などによる設定値消失に備え、iLO ファームウェアアップデート実施後に、バックアップとリストア機能を使用して、iLO 設定のバックアップを行うことを推奨します。
- 本 iLO ファームウェアを適用後、iLO Web インターフェースの [ダッシュボード]-[iLO 概要]-[iLO セキュリティ] および [セキュリティ]-[概要]-[全体セキュリティステータス] に「◆リスク」が表示される場合があります。  
RBSU や iLO の設定の状態によっては、iLO セキュリティのステータスに「◆リスク」が表示されますので、お客様のセキュアポリシーに応じてセキュリティの対処をお願いします。推奨値等の詳細は、iLO7 ユーザーズガイドを参照してください。
- 本 iLO ファームウェアを適用後、iLO Web インターフェースの [ファームウェア]-[ファームウェア設定]-[ダウングレードポリシー] の設定で、「ダウングレードを永遠に不許可」へ設定しないでください。  
この設定に変更してしまうと、iLO Web インターフェースや各種ユーティリティからも、この設定を変更することができなくなります。また、BMC 構成ユーティリティの [工場出荷時のデフォルトにセット] オプションにて、iLO を出荷時のデフォルト設定に設定しても、当該設定はリセットされず、「ダウングレードを永遠に不許可」を維持します。

- サーバー起動から OS の起動完了までの間 (POST 実行中も含みます) は、iLO の再起動を行わないでください。また、システムユーティリティの操作途中も、iLO の再起動を行わないでください。

該当タイミングで iLO の再起動を行うと、期待しない動作となる場合があります。

例えば、システムユーティリティの設定変更途中で iLO の再起動を行うと、直後のシステム再起動処理 (Reboot) が正常に動作しない場合や、装置に記録されている Serial Number、Product ID などの設定情報を消失する場合があります。

また、POST 実行中に iLO の再起動を行うと、iLO Web インターフェースの [ダッシュボード]-[一般情報]-[UUID] が不正な表示になる場合があります。不正な表示となった場合は、本体装置の電源をオフ、オンしてください。

## 改版履歴

初版 2026/05/29 iLO7 初版。